

TOPICS 1 市内の放射線量を測定

市ではこれまで、園庭や校庭、プール、水道水などについて、放射線量の測定を行い、結果をホームページなどでお伝えしてきました。しかし、県内各所で、周辺よりも放射線量が高い領域、いわゆるホットスポットについての不安が広がっていることから、市民の皆さんの放射線に対する不安の払しょくと、安全を図るため、このたび、「深谷市における放射線量測定及び除染に関する基本方針」を定めました。

この方針では、生活空間におけ

みんなの声 BOX

Q 公共施設の利用申し込みが、平日の昼間だけしかできなくてとても不便です。どうにかならないでしょうか？

A 1月4日(水)から利用申し込みの時間を、延長します。

市では、寄せられたご意見をもとに、1月4日から公民館などの利用申込時間を、試行的に延長します。施設が空いている場合は、当日の利用も可能になります。

利用申込時間 平日＝午前8時30分～午後8時、休日＝午前8時30分～午後5時15分

対象施設 公民館が貸し出しを行っている部屋およびグラウンド（一部を除く）、テニスコート

問い合わせ 生涯学習課（☎572 - 9581）



深谷市議会議長 山島信吉

市民の皆様におかれましては、輝かしい新春をお迎えのことと心からお慶び申し上げます。また、日ごろから議会活動に対し温かいご理解を賜り心から厚くお礼申し上げます。

昨年3月11日に発生しました東日本大震災や台風12号などによる未曾有の被害で、多くのかたの貴い命が奪われるなど、悲しくつらい経験をしました。今年こそ被災地の復興が進み、災害のない明るい話題に満ちた年になることを願ってやみません。

さて、地方の時代の今、地方自治の主体性や二元代表制の下で議会の役割が増す中、深谷市議会では、議会改革を進め的確に対応し市民福祉の向上、市民生活の安定のため、全力を尽くしますので、市民の皆様のご指導ご協力をお願いいたします。

市民の皆様にとりまして、本年が飛躍の年となりますよう心からご祈念申し上げ、新年のごあいさつといたします。

平成24年年頭のごあいさつ



謹んで、新春のお慶びを申し上げます。

昨年、東日本大震災や台風12号により多くの国民の生命・財産が奪われた、つらく悲しい年でした。そうした中、深谷市では、医師確保の取り組みや大規模災害時の相互応援協定など、市民の皆様の生命と生活を第一に考えた施策を実施するとともに、公正かつ公平な視点で、行財政改革を進めてまいりました。

本年は、深谷市総合振興計画・後期基本計画の策定年にも当たり、産業団地の造成や花園ICを生かしたまちづくり、中心市街地の活性化などの重要施策の推進を含めた、深谷の将来を形作る年となります。このため、自治会訪問対話会や市長への手紙など、さまざまな機会や手段を活用し、市民の皆様の声に耳を傾け、市政に邁進してまいり所存です。

市民の皆様にとりまして、本年が、安全に安心して暮らせる年となりますよう心からご祈念申し上げます。



深谷市長 小島進

TOPICS 2 給食食材の放射性物質を測定

小・中学校、保育園の給食では、地場産物を使用した安全な給食を提供しています。

しかし、福島第一原子力発電所の事故による放射性物質の影響から、給食食材の安全性を心配されている保護者もいらっしゃると思います。

市場に流通している食材は、食品衛生法の暫定規制値以下の安全な物ですが、保護者の皆さんにより安心していただくため、市では、小・中学校、保育園の給食では、地場産物を使用した安全な給食を提供しています。

給食食材の放射性物質測定検査を実施することになりました。

検査は、1月中旬から、小・中学校、保育園の給食食材の一部をサンプルとして、順次、検査していきます。

なお、検査結果については、市のホームページでお知らせします。

問い合わせ 教育総務課（☎574-5811）、保育課（☎574-8648）

追加被ばく線量の目標を年間1ミリシーベルト以下とし、「ホットスポット」を含めて放射線量が毎時0.23マイクロシーベルトを超える測定地点があった場合、除染や立ち入り禁止などの処置を行うこととしています。

市では、この方針に基づき、ホットスポットと思われる地点を含めた放射線量の測定を随時実施していきます。

また、測定場所は、子どもたちへの影響を考慮し、保育園、学童保育室、幼稚園、小学校、中学校

および公園から実施します。これらの施設の測定や除染、立ち入り禁止などの処置が完了した後、庁舎およびその他の公共施設などについても、順次、実施していきます。

問い合わせ 環境課（☎575-5150）



▲測定は、子どもたちが集まる場所や、ホットスポットと思われる場所数箇所について実施

深谷シネマ



1月のご案内

- 定期上映時間
- ① 午前10時30分
 - ② 午後1時30分
 - ③ 午後4時30分
 - ④ 午後7時30分
- 通常料金 1,000円
 園NPO市民シネター・エラ (☎575-1456)(2)
 ※火曜日定休
- 「ごまどり姉妹がやって来るヤァーヤァーヤァー」 (日本・71分・ドキュメンタリー)
 とき 1月2日(休)～7日(出)①、1月15日(出)～21日(出)①
 内容 かつて一世を風靡した双子デュオの知られざる栄光と苦難
- 「沈黙の春を生きろ」 (日本・87分・ドキュメンタリー)
 とき 1月22日(出)～28日(出)②
 内容 ベトナム戦争における枯葉剤後遺症の影響とその後の現状
- 「人生100年あり」 (イタリア・111分・字幕)
 とき 1月22日(出)～28日(出)③④
 内容 法改正により精神病院が廃止となったイタリアで、社会参加を目指す人々の実話に基づく物語
- 「神様のカルテ」 (日本・126分)
 とき 1月15日(出)～21日(出)②③④
 内容 地方病院の青年医師が末期ガンの老婦人と出会い、新たな目標を見出す。
- 「うさぎドロップ」 (山崎タツシ・香取真央・阿部寿一)
 とき 1月8日(出)～14日(出)①②③④
 内容 祖父が残した幼い娘を育てることになった独身男の患戦苦闘
- 「小川の辺」 (日本・103分)
 とき 1月2日(休)～7日(出)②③④
 内容 藤沢周平の短編小説を篠原哲雄が映像化
- 「ルビカゲロウ」 (日本・114分)

※上映情報はすべて予定です。予告なしに変更になる場合があります。